

人口

約83万人 (平成28年度現在)



面積

約2400 km<sup>2</sup>

10市10町で構成

佐賀市・唐津市・鳥栖市・多久市・伊万里市・武雄市  
鹿島市・小城市・嬉野市・神埼市・吉野ヶ里町・基山町・上峰町  
みやき町・玄海町・有田町・大町町・江北町・白石町・太良町

位置

佐賀県は九州の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接し、北は玄界灘、南は有明海に面しています。東京まで直線距離で約900km、大阪まで約500kmであるのに対し、朝鮮半島までは約200km不足と近接しており、大陸文化の窓口として歴史的、文化的に重要な役割を果たしてきました。



気候

佐賀県の年間平均気温は16℃前後の地域が多いです。年間降水量は、東の脊振山から西の国見山にかけての山あいが多く、2500mm前後降っています。一方、北部の玄界灘近くや南部の佐賀平野は雨が少なく、1800mm程度です。これらのことから、佐賀県の気候は比較的穏やかといえます。

県のシンボル



県旗

クスの花を図案化して、佐賀県の栄える姿を象徴したものです。



県紋章

円形は協和を意味し、県民が力を合わせ手をつなぎ合います。一つの力より三つの力でますます三力（さんりき）を表現しています。



佐賀県

佐賀県のシンボルマーク

豊かな佐賀県の県土と海を表現しており、中央の円は豊かさの輪であり、恵まれた資源と歴史のうえに、人を中心に自然と文化が響き合い共鳴している様子を表現し、広がりゆく発展性を表しています。佐賀県を舞台に、県民と日本や世界の人々が交流し、響き合っている様子を表現しています。



県鳥:カササギ

「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心に生息しています。1923(大正12)年にはカササギ生息地として天然記念物に指定されています。



県木:クス

県内では「川古のクス」(武雄市若木)のクスが一番大きき、根周り33m、樹齢は3000年を超えると推定されます。



県花:クスの花

クスの花は5月に咲き、直径が3~4mmで、愛らしい白または淡黄色をしています。

佐賀県広報広聴課提供

## 調べてみよう身近な市町

あなたが住んでいる市や町のシンボルマークには、市町の特徴や将来への願いなどが込められています。身近な市町の特徴を調べてみましょう。



佐賀市  
431.84km<sup>2</sup>



唐津市  
487.58km<sup>2</sup>



鳥栖市  
71.72km<sup>2</sup>



多久市  
96.96km<sup>2</sup>



伊万里市  
255.25km<sup>2</sup>



武雄市  
195.40km<sup>2</sup>



鹿島市  
112.12km<sup>2</sup>



小城市  
95.81km<sup>2</sup>



嬉野市  
126.41km<sup>2</sup>



神埼市  
125.13km<sup>2</sup>



吉野ヶ里町  
43.99km<sup>2</sup>



基山町  
22.15km<sup>2</sup>



上峰町  
12.80km<sup>2</sup>



みやき町  
51.92km<sup>2</sup>



玄海町  
35.92km<sup>2</sup>



有田町  
65.85km<sup>2</sup>



大町町  
11.50km<sup>2</sup>



江北町  
24.49km<sup>2</sup>



白石町  
99.56km<sup>2</sup>

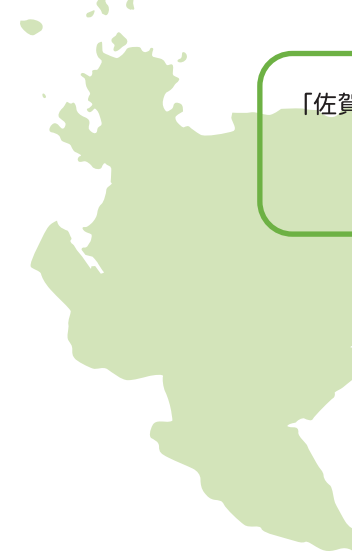


太良町  
74.30km<sup>2</sup>

## 調べてみよう佐賀県のこと

豊富なデータを検索

佐賀県で実施している県統計をはじめ国の政府統計など、佐賀県に関する最新のデータをキーワードやデータ形式により検索することができます。「ふるさと佐賀」のよさを調べてみましょう。



「佐賀県の全国No.1」や人口、産業、暮らしなど、佐賀県の今の姿がよく分かります。いろいろ調べてみよう。



さが統計情報館

